

耕平さんかわら版

発行編集所

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。今年もあとひと月あまり。早いですね。寒い日も多くなりまして。くれぐれもご自愛ください。

今月の九日、僕が提案者となって提出しました年金保険料流用禁止法案が参議院で可決されました。参議院での与野党逆転の具体的な成果と言えます。年金の保険料は給付以外には使わない、ムダ遣いや本来の目的以外の使途に流用させないという当たり前の法案です。このかわら版をお配りする頃には衆議院での審議が佳境を迎えていると思います。さて、与党が多数の衆議院では否決されるのでしょうか。興味津々です。



ところで、この法案が可決された九日の夜、小沢さんと福田さんの党首会談で民主党と自民党の大連立が話題になり、その後の展開は皆さんご承知のとおりです。小沢さんの辞任騒動に発展し、皆さんをお騒がせし、ご心配をおかけしました。僕からもお詫び申し上げます。

先月のかかわら版では、福田さんが今の内閣を「背水の陣」内閣と命名したことをとり上げました。しかも、「背水の陣」の故事が教える本来の意味は、「必死に頑張る」ということではなく、「機略をもって相手を制する」という意味であることをご紹介しました(ご興味がある方は先月号をもう一度ご覧ください)。福田さんはまさしく「機略」を仕掛けてきました。「背水の陣」の故事の本来の意味をよくご存知のうえで大連立をもちかけたようです。なるほどという感じ

今回の「機略」は今一歩のところまで成就せず、次の攻防に移りました。延長された国会での論戦、その結果としての解散総選挙。そういう方向に進んでいく確率が最も高いと言えます。

さて、総選挙の結果がどうなったとしても、参議院での与野党逆転の状況は変わりません。福田さんは総選挙の後にもまた「機略」を打ち出さざるを得ないでしょう。今度はどんな「機略」でしょうか。

いずれにしても、議論、話し合いによって国政を動かしていくのが国会の仕事。物事が進展する環境を整えなくてはなりません。小沢さんの民主党、福田さんの自民党を中心に、国民の皆さんにご納得頂ける展開となるように頑張ります。



第3回 弘法さんを語る会 (明後日です)

日時: 11月23日(祝日・金)午後1~3時

<受付は午後0時半から>

演題: 弘法大師と般若心経

場所: 専修院(日泰寺の西側)

講師: 大塚耕平(かわら版執筆者)

<早稲田大学・中央大学大学院客員教授、参議院議員>

定員: 50名(参加無料)

参加お申し込みは事務局までお電話ください。当日ご参加も歓迎致しますが、定員一杯、会場一杯になりましたらメ切とさせていただきます。予めご了承ください。

お申し込み先: 052-757-1955(担当・中村)

(ご参考)

第1回は平成16年12月「弘法大師の生涯」

第2回は平成17年12月「弘法大師の教えと覚王山史跡探訪」

どちらも「背水の陣」

機略で勝負!

